



二重特異性デュアルペイロード ADC： 腫瘍の不均一性と治療抵抗性を克服する 新たな戦略

【開催日時】

4月21日（火） 16:00（日本標準時間）

形式：オンライン（Zoom ウェビナー）

言語：英語（日本語字幕付き）

【講演概要】

抗体薬物複合体（ADC）は標的がん治療を大きな変革をもたらしていますが、腫瘍の不均一性、つまりがん細胞集団によっては標的の発現が異なり、細胞毒性薬剤に対する感受性の違いを示すため、固形腫瘍の治療は依然として困難です。

この課題を克服するために、二重特異性 ADC や二重ペイロード ADC など、次世代 ADC プラットフォームが登場し、既に臨床開発段階に進んでいるものもあります。二重標的化と相補的な作用機序を組み合わせることで、二重特異性デュアルペイロード ADC は、腫瘍被覆率の向上、細胞毒性効果の増強、そして治療抵抗性リスクの低減を実現する有望な戦略となります。

本ウェビナーでは、Haipeng Liu 氏が、Biocytogen の革新的なデュアルペイロード ADC 戦略をテーマにし、ケーススタディを紹介し、標的発現の不均一性と腫瘍細胞の薬剤感受性のばらつきに対応するために設計された、当社の二重特異性デュアルペイロード ADC である ITGB6xB7H3-vcMMAE-BLD1102 について詳しく解説します。次世代デュアルペイロード型二重特異

性 ADC の開発を形作る設計原理と実用化戦略に関する知見を共有されます。



二重特異性デュアルペイロードADC： 腫瘍の不均一性と治療抵抗性を克服する 新たな戦略

Haipeng Liu, Ph.D.

バイオロジクス研究所リーダー、プロジェクトマネージャー

📅 **4月21日（火）**

🕒 16:00（日本標準時間）

📺 形式: オンライン（ZOOMウェビナー）

🗣️ 言語: 英語（日本語字幕付き）

[Becoming the Global Headstream of New Drugs](#)



【講演者】

Haipeng Liu 氏は、Sorbonne University で医薬品化学の博士号を取得しました。シクロデキストリンを基盤とする超分子システム、および EGFR 標的型低分子阻害剤の開発に関する研究を行いました。

それ以前は、中国天津科技大学で医薬品化学の修士号を取得し、インフルエンザウイルス阻害タンパク質複合体の研究に従事しました。また、中国内モンゴル農業大学で薬学工学の学士号を取得し、経営管理の副専攻もしていました。

Biocytogen に入社する前は、Jiangsu Hengrui Medicine 社でプロダクトマネージャーを務めていました。現在では、二重特異性 ADC の開発および次世代抗体ベースの複合体に関するプロジェクトマネジメントを統括しています。

【参加費：無料】

【プライバシーに関するご案内】

本ウェビナーにおいて、登録時にご提供いただいた個人情報（氏名、メールアドレスなど）は、イベントの運営および関連情報の配信のみに使用されます。お客様の個人情報は厳重に管理され、第三者と共有したり、その他の目的で使用したりすることはありません。詳細については、プライバシーポリシーをご覧ください。

[お申し込みはこちら](https://biocytogen.zoom.us/webinar/register/WN_zXFWxmzIQm6VJ_hJUdFw6g#/registration)

https://biocytogen.zoom.us/webinar/register/WN_zXFWxmzIQm6VJ_hJUdFw6g#/registration